

【第一号議案】－平成 25 年度事業経過について－

平成 25 年度一般社団法人宮城県臨床検査技師会事業報告をいたします。

昨年、4 月 1 日より“一般社団法人宮城県臨床検査技師会”に生まれ変わり、2 回目の定時総会です。この 1 年間、新たな仕組みである公益事業／会計と法人事業／会計の区別などに戸惑いながらも担当理事および行政の指導で予定していた事業を無事に遂行できたと考えております。会員の皆様のご審議を宜しくお願いいたします。

総務部および事務局は、一般社団法人に伴う報告書の作成、定款変更に伴う諸規定の見直し、会員名簿の発行、日臨技や北日本支部との対応を行いました。

学術関係では、10 月 12、13 日に仙台国際センターにおいて日臨技北日本支部医学検査学会（第 2 回）を担当県として約 1,000 名の参加者で盛会裏に開催することができました。また、各種研修会の開催、精度管理調査の実施、日臨技の臨床検査データの標準化や精度保証施設認証制度への対応、宮城県臨床検査技師会誌 Vol.3 の刊行などを行いました。

公益事業として、HIV 関連事業（6 保健所における HIV 迅速検査会）、他団体支援事業（白石市健康福祉まつり、ピンクリボンフェスティバルなどへの参加）を行いました。

3 年目となる震災関連事業として、ホームページにおける安否確認システムの運用開始、昨年に引き続き岩手県臨床検査技師会と共催で合同研修会の開催、被災地 DVT 検診に対する支援計画などを行いました。

会員、賛助会員、関連の官庁や団体のご理解およびご協力に感謝いたします。

【総務部】

1. 総務・法規・組織

- 1) 会務の執行体制は、7 部門（学術部、精度管理部、広報部、総務部、会計部、公益事業推進部、事務局）で行った。
- 2) 定款の変更に伴う諸規定の見直しを行い、改定を行った。表彰規程は継続して検討することとなった。
- 3) 移行法人（公益目的支出計画実施中の一般社団法人）として、公益目的支出計画実施報告書などの定期提出書類の作成を行った。
- 4) 前年度より継続して作成を進めてきた会員名簿の発行を行った。

【表彰委員会】

1. 青木賞

日臨技北日本支部医学検査学会（第 2 回）の開催に伴い、みやぎ医学検査学会が開催されなかったため、平成 25 年度の青木賞の選考は行われなかった。

2. 「東北臨床検査技師会功労賞および奨励賞」

日臨技北日本支部移行により、東北臨床検査技師会功労賞および奨励賞については平成 25 年度より廃止となった。

【事務局】

1. 事務局運営について

- 1) 日臨技北日本支部医学検査学会(第2回)を宮臨技運営で開催。会員のご尽力のお陰で、大盛況のもと、幕を下ろすことが出来た。
- 2) ホームページ更新については各部門と連携を図り、常に迅速な更新、最新の情報を提供できるよう努めている。災害安否確認システムについても引き続き会員の登録を募集し、災害時の連絡以外にも定期的な連絡ツールとしての活用を検討している。

2. 平成 25 年度の各種開催会議

- 1) 会員総会
平成 25 年度 定時総会 平成 25 年 5 月 26 日(土) KKR ホテル仙台
平成 25 年度 臨時総会 平成 26 年 3 月 15 日(上) KKR ホテル仙台
- 2) 理事会 7 回
- 3) その他 三役会議 2 回
北日本支部医学検査学会実行委員会 8 回

3. 機材管理

宮臨技事務所の PC を更新したことにより、各方面への事務手続き、研修会準備等一般会員向けのサポート体制の向上、迅速化を図ることが出来た。

4. 生涯教育研修事業(資料 1)

学術部開催や各種研修会に多くの会員が参加し、広域分野、専門分野共にスキルアップが図られた。

宮城県臨床検査技師会としての登録は 33 事業であり、そのほかに北日本学会と自己申告に対して登録を行ってきた。しかし、まだ多くの会員が検査関連の研修会や学会に参加しているものと思われるが、自己申告をしていないようであり、今後の対策を要する。

【公益事業推進部】(資料 2)

1. HIV 関連事業

平成 25 年度の「HIV 検査普及週間」に係る HIV 迅速検査会(6 月)は 6 保健所(気仙沼・登米・栗原・大崎・塩釜・仙南)で行った。気仙沼保健所では月に 1 回、石巻保健所では月に 2 回、独自の迅速検査会を行っていた。しかし、「世界エイズデー」に係る HIV 迅速検査会(12 月)は例年通り宮城県内 7 保健所と仙台市青葉区保健福祉センター、塩釜保健所管内で新たに黒川支所と岩沼支所への宮臨技会員の派遣依頼があり、合わせて 8 名の宮臨技会員の協力で実施した。

2. ピンクリボン事業

日臨技委託事業の「がん予防啓発に関する事業」として、乳がん予防啓発活動の一環で 4 回の推進会議、街頭キャンペーン、報告連絡会を 8 名の会員の協力で参加し、乳がん撲滅の活動が出来た。

スマイルウォークについては当日荒天のため開催中止となった。

3. 他団体支援事業

白石市主催で白石ホワイトキューブにて開催された「第5回白石市健康福祉まつり」に参加し、ABI検査の測定を会員4名の協力の元に行った。

「大崎市健康と福祉のつどい」では、頸部エコー検査を会員11名の協力の元に古川保健福祉プラザで行った。また仙台市泉区アリオにて「健康づくりハッピーデーin いずみ」が初めて開催され、会員2名の協力の元に血管年齢測定を行った。

栄養士会主催で仙台市青葉区アエルにて開催された「第10回いい日いい汗栄養まつり」は会員5名の協力の元に血管年齢測定、肺年齢測定を行った。

【広報部門】

1. 会誌発行事業

「ニュースみやぎ」では、従来通り前後期総会、理事会報告、研修会報告、公益事業報告等技師会活動等の情報提供を目的とし年2回（No87、No88）の発行を行なった。

「宮城県臨床検査技師会誌」は投稿論文、技師会活動報告を掲載したVol.3 No.1を5月に発行した。

2. ホームページ維持・更新

更新作業を制作業者に委託し、更新指示は各部門で分担制にすることで迅速な情報提供に努めた。

【学術部】

1. 平成25年度日臨技北日本支部医学検査学会（第2回）

東北大学医学部付属病院の長沢光章会員を学会長とし、平成25年10月12日～13日の二日間 仙台湾国際センターを会場に開催し1,000名を超える参加がありました。一般演題124題、特別講演、教育講演8題、シンポジウム5題、ワークショップ、パネルディスカッション2題、形態カンファレンス、日臨技企画2題、ランチョンセミナー、イブニングセミナー等を催しました。内容が充実し、会員のご協力のもと非常に活気のある学会となりました。

2. 研修会・講習会等（資料3、4）

宮城県臨床検査技師会学術部は、会員の知識向上と検査技術のレベルアップを目的に主催研修会の企画・運営を行ってきました。（資料3）開催数は岩手県臨床衛生検査技師会との合同研修会を含め24件でした。開催地は仙台市が20件、石巻市1件、大崎市1件、大河原町1件、大船渡市1件でした。分野別にみると、生理部門3件、生物化学部門3件、病理部門2件、細胞部門1件、血液部門2件、輸血部門2件、一般部門2件、微生物部門1件、総合管理部門4件、他部門共通の合同研修会が4件で、生涯教育点数は専門が20件、基礎が4件となっていました。参加者は実務委員、講師をのぞき、のべ890人でした。研修会の内容別にみると、ほとんどが講演形式でしたが、シンポジウム形式、グループワーク形式、実習形式も行われていました。また平成24年度宮臨技精度管理の結果を反映し、更なるアドバイスと補習を兼ねた研修会も行われました。北日本支部学会という大きな行事の学術企画、運営があつたにもかかわらず、主催研修会は平成24年度と比較し4件増加しました。また他団体

への共催研修会は7件でした。(資料4)

【精度管理部】

1. データ標準化委員会

臨床検査データが国民の健康管理や疾病の診断・予防に活用されるためには、広くその信頼性が保証されていなければなりません。日臨技の進める全国的なデータ標準化には、「パッチワークシステム」がうまく機能する必要があるため、そのためにはデータの集計・解析方法など地方サーベいの標準化が必要です。このことから、宮臨技では昨年度に日臨技 Web を使用した宮臨技精度管理をスタートさせた。この Web に於ける宮臨技サーベいの企画及びその作成も2年目に突入し、順調であった。

一方、「パッチワークシステム」が機能するためのパイロット施設データの積極的活用には至らなかった。また、Web システムを使用した地方サーベいの集計・解析方法の標準化を遂行する上で、従来行なってきた宮城県サーベい独自の評価基準設定を変更する必要が生じた。施設別成績書で従来より厳しく判定された施設があるが、このことで参加施設の減ることの無い様、設問の難易度に注意し、底上げ（ボトムアップ）を期待できるように設問を吟味し、調整する必要がある。

内部精度管理データの報告（登録）は、日臨技 Web に各施設が登録する方法に変更されているが、宮城県のデータ登録数は昨年度を大きく下回り 18 施設の登録に止まった。入力締切が12月31日であることから、内部精度管理データ入力の先延ばしによる入力し忘れが原因の一端と考えられるが、手引書にも掲載してあるように宮臨技精度管理設問の回答前に終えてもらいたい。

2. 精度保証施設認証委員会

平成 23 年度から宮臨技精度管理調査の項目数は、精度保証施設認証制度の基準を満たしたので、「一般施設認証」を行うことが可能となった。今年度は新規 6 施設、更新 1 施設の申請があり、平成 25 年 11 月 26 日（火）精度保証施設認証委員会を開催し、提出された申請書類を手続きに従って厳正に審査した。この審査結果を速やかに宮臨技理事会と日臨技精度保証部へ報告を行い、これらの施設は認証（認証更新）された。（新規施設は仙台市立病院、独立行政法人国立病院機構仙台医療センター、石巻赤十字病院、地方独立行政法人宮城県立病院機構宮城県立がんセンター、仙台オープン病院、栗原市立栗原中央病院、宮城県の認証施設は 9 施設となった。）

日臨技データ標準化委員会試算による現在の宮城県技師会の取得可能施設数は 64 と報告されている。

○平成 25 年度審査日程は次のとおりだった。

都道府県技師会申請受付期間	平成25年 9月20日（金）～11月20日（水）
都道府県技師会審査期間	平成25年11月21日（木）～12月6日（金）
日臨技 申請受付期間	平成25年12月2日（月）～12月13日（金）
精度保証認証委員会（最終審査）	平成26年1月26日（日）
執行理事・理事会審議、承認	平成26年2月上旬
承認通知、認証料請求書発送	平成26年 2月上旬～ 2月中旬
認証書発送	平成26年 3月下旬予定

3. 精度管理委員会

平成 25 年度実施業務の内容

精度管理委員会は、以下の通り平成 25 年度の精度管理調査を実施した。

実施日程

- | | |
|-----------------|----------------------------------|
| (1) 申込み締め切り日 | 平成 25 年 7 月 14 日 (土) Web のみにて受付 |
| (2) 試料送付時期 | 平成 25 年 10 月 28 日 (月) |
| (3) 回答締め切り日 | 平成 25 年 11 月 10 日 (日) Web 回答のみ受付 |
| (4) 解析結果閲覧開始日 | 平成 25 年 11 月 25 日 (月) |
| (5) 施設別報告書閲覧開始日 | 平成 25 年 11 月 26 日 (火) |
| (5) 全体報告書発行 | 平成 26 年 2 月下旬、参加施設へ送付済 |
| (6) 精度管理報告会 | 平成 26 年 3 月 15 日 (土) 15 時～17 時 |

調査項目

臨床化学：AST,ALT,LD,ALP, γ GTP,CK,Na,K,Cl,Glu,TG,HDL-C,LDL-C,TC,CRE,UN,UA,
AMY,ChE,Ca,ALB,TP,TBIL,IP,Fe,CRP, HbA1c の 27 項目

血液：CBC (WBC,RBC,HGB,HCT,PLT,MCV,MCH,MCHC の 8 項目) および画像サーベイ

一般：静止画像サーベイ (尿沈渣等)

微生物：感染症原因菌の同定、感受性試験

輸血：ABO、D(Rh0)式血液型検査

生理：静止画像サーベイ及び動画サーベイ (心電図、心臓超音波、腹部超音波)

病理：未染色標本による染色サーベイ

細胞診：静止画像サーベイ

参加施設

臨床化学 112、血液 115、尿一般 90、微生物 36、輸血 72、生理 86、
病理 23、細胞診 25、回収施設総数 138。詳細は報告書を参照下さい。

【会計部門】

1. 会員管理

平成 26 年 3 月末日現在の会員数は 962 名、県会員 2 名、賛助会員は 38 社であった。
3 月 28 日に H26 年度会費 881 名分が日臨技より送金された。

2. 会計処理

公益法人会計基準に則して処理を行った。主な会計方針については【財務諸表に対する注記】を参照していただきたい。

資料 1. 生涯教育対象行事（宮城県臨床検査技師会主催・担当）

開催日	行事名
2013/04/13	薬剤と臨床検査
2013/04/20	脳血管疾患の診断と治療～頸動脈エコーの関わり～
2013/05/25	平成 24 年度病理組織検査精度管理フォローアップ研修会
2013/05/26	平成 25 年度宮城県臨床検査技師会定時総会
2013/05/26	医療安全研修会「事例から学ぶリスクマネジメント」
2013/06/23	平成 25 年度微生物部門第 1 回研修会
2013/06/29	学術一般検査部門研修会
2013/06/29	生理機能検査部門精度管理フォローアップ研修会
2013/06/29	細胞部門精度管理フォローアップ研修会
2013/07/06	病理部門研修会「技師のための病理組織セミナー」
2013/07/06	生化学、免疫学の基礎と震災対応型臨床検査システム
2013/07/14	凝固・線溶検査がわかる・スキになる
2013/07/20	輸血部門における品質保証
2013/08/03	採血業務について
2013/08/24	臨床検査技師と医学論文
2013/09/07	糖尿病合併症と臨床検査
2013/10/05	第 7 回呼吸器感染症の診断と治療を考える
2013/10/12	平成 25 年度日臨技北日本支部医学検査学会（第 2 回）
2013/10/25	第 3 回宮城医療安全研究会
2013/11/01	血液ガスっておもしろい！？～血液ガスデータの見方
2013/11/02	心肺蘇生講習会 AHA ハートセイバーAED コース
2013/11/09	第 19 回東北院内感染対策研究会
2013/11/09	日本臨床微生物学会 震災感染症シンポジウム
2013/11/16	医学論文と医療統計
2013/11/16	がん化学療法について
2013/11/30	宮城・岩手県技師会合同学術研修会
2013/12/07	細胞形態の特徴をつかもう！
2013/12/14	第 8 回神経脈管エコー検査セミナー
2014/01/18	症例検討－輸血検査と製剤管理の知識を深める－
2014/01/18	第 13 回東北臨床感染研究会
2014/01/25	「一般検査臨床遍」～これだけは！知っておきたい尿定性検査と尿沈渣成分～
2014/03/06	宮城臨床血管情報研究会
2014/03/09	診療報酬改定のポイント
2014/03/15	平成 25 年度宮城県臨床検査技師会臨時総会
2014/03/15	平成 25 年度精度管理報告会

資料 2

平成 25 年度公益事業活動報告

公益事業推進部 部長 佐藤由則
副部長 狩野 勝

平成 25 年度他団体支援事業における会員の活動報告をする。

1. HIV 青葉区役所迅速検査会

期 日 : 平成 25 年 6 月 1 日 (土) 9 : 30 ~ 18 : 00

場 所 : 青葉区保健福祉センター 2 階 (青葉区役所)

協力会員 : 真壁病院

佐藤 由則 担当理事

2. HIV 検査普及週間

期 日 : 平成 25 年 6 月 1 日 (土) ~ 6 月 10 日 (月) まで

実施日と協力会員

・塩釜保健所 6 月 1 日 (土) 塩釜医師会臨床検査センター

・仙南保健所 6 月 4 日 (火) 公立刈田総合病院

・栗原保健所 6 月 4 日 (火) 栗原市立栗原中央病院
真壁病院

・登米保健所 6 月 6 日 (木) 登米市立登米市民病院
真壁病院

・気仙沼保健所 6 月 6 日 (木) 気仙沼市立病院
真壁病院

・大崎保健所 6 月 10 日 (月) 大崎市民病院
真壁病院

阿部 美彌子 会員
渡辺 嗣信 会員
佐藤 徳吉 会員
佐藤 由則 担当理事
及川 久雄 会員
佐藤 由則 担当理事
梶原 かおり 会員
佐藤 由則 担当理事
大柳 政一 会員
佐藤 由則 担当理事

3. 健康づくりハッピーデー in いずみ

期 日 : 平成 25 年 9 月 18 日 (水) 10 : 00 ~ 15 : 00

会 場 : アリオ仙台泉 1 階 センターコート

協力会員 : 真壁病院
ベータル病院

川端 泰広 会員
狩野 勝 担当理事

4. ピンクリボン 日臨技委託 (がん予防啓発事業)

期 日 : 平成 25 年 6 月 10 日 (月) ~ 12 月 18 日 (水)

推進会議 第 1 回 平成 25 年 6 月 10 日 (月)

真壁病院

佐藤 由則 担当理事

第2回	平成25年7月18日(木)	真壁病院	佐藤 由則 担当理事
第3回	平成25年 8月19日(月)	真壁病院	佐藤 由則 担当理事
第4回	平成25年 9月18日(水)	真壁病院	佐藤 由則 担当理事
報告連絡会	平成25年12月18日(水)	気仙沼市医師会臨床検査センター	佐藤 由則 担当理事

(1) 街頭キャンペーン 平成25年9月29日(日) 12:30~14:40
 会場：三越前付近 宮臨技はフォーラス前
 協力会員： 塩釜医師会臨床検査センター 緒方 栞 会員
 塩釜医師会臨床検査センター 阿部 美彌子 理事
 真壁病院 佐藤 由則 担当理事

(2) スマイルウオーク 平成25年10月26日(土) 9:00~16:00
 会場：仙台市勾当台公園「いこいのゾーン」(出発・到着・イベント会場)
 協力会員：5Km・10Kmウオーキング
 宮城県立がんセンター 永野 亜津沙 会員
 宮城県立がんセンター 村上 あや子 会員
 塩釜医師会臨床検査センター 緒方 栞 会員
 塩釜医師会臨床検査センター 阿部 美彌子 理事

青葉城址給水ポイント担当
 石巻ロイヤル病院 志田 白 会員
 真壁病院 渋谷 妙子 会員
 真壁病院 杜渡 真由美 会員
 気仙沼市医師会臨床検査センター 佐藤 由則 担当理事

尚、このイベントは台風の直撃が予想されたため、安全を期して直前に中止となった。

5. 第5回白石市健康福祉まつり

期日：平成25年11月 2日(上)
 会場：白石市ホワイトキューブ
 協力会員： 公立刈田総合病院 多田 恵理 会員
 公立刈田総合病院 渡辺 嗣信 会員
 気仙沼市医師会臨床検査センター 佐藤 由則 理事
 ベーテル病院 狩野 勝 担当理事

6. 大崎市健康と福祉のつどい

期 日 : 平成25年9月19日(土) 10:00~16:00

会 場 : 古川保健福祉プラザ

協力会員 : 大崎市民病院

大柳 政一	会員
佐々木 俊子	会員
管 久美	会員
太田 敬一	会員
及川 寛子	会員
高橋 佳那	会員
浅水 麻里	会員
氏家 和明	理事
船水 康陽	会員
真部 美穂	会員
佐藤 由則	理事
狩野 勝	担当理事

東北大学病院

真壁病院

ペーテル病院

7. 第10回「いい日いい汗栄養まつり」

全体打ち合わせ会議

期 日 : 8月1日(木) 17:00~19:00

会 場 : 栄養士会事務所

真壁病院

佐藤 由則 担当理事

期 日 : 11月23日(土) 勤労感者の日 9:00~17:00

会 場 : 仙台市情報産業プラザ 多目的ホール

協力会員 :

石巻ロイヤル病院

志田 白 会員

真壁病院

渋谷 妙子 会員

真壁病院

杜渡 真由美 会員

塩釜医師会臨床検査センター

阿部 美彌子 理事

ペーテル病院

狩野 勝 理事

気仙沼市医師会臨床検査センター

佐藤 由則 担当理事

8. 「世界エイズデーみやぎ・せんだい2013」仙台駅街頭キャンペーン

期 日 : 平成25年12月1日(日) 午前11時半から午後3時

会 場 : JR 仙台駅西口2階コンコース

協力会員 :

東北大学病院

長沢 光章 理事

気仙沼市医師会臨床検査センター

佐藤 由則 担当理事

9. 青葉区役所 HIV 迅速検査会

期 日 : 平成25年12月7日(上) 9:30~18:00

会 場 : 青葉区保健福祉センター2階(青葉区役所)

協力会員 : 気仙沼市医師会臨床検査センター

佐藤 山則 担当理事

10. 平成25年度「世界エイズデー」における HIV 検査

期 日 : 平成25年11月30日(上)~12月3日(火)まで

実施日・実施保健所と協力会員

・石巻保健所	11月26日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
・気仙沼保健所	11月30日(上)	気仙沼市立病院	梶原 かおり	会員
・登米保健所	12月 1日(日)	登米市立登米市民病院	及川 久雄	会員
・塩釜保健所				
黒川支所	12月 1日(日)	真壁病院	川端 泰広	会員
・栗原保健所	12月 2日(月)	栗原市立栗原中央病院	佐藤 徳吉	会員
・仙南保健所	12月 2日(月)	公立刈田総合病院	渡辺 嗣信	会員
・大崎保健所	12月 2日(月)	大崎市民病院	大柳 政一	会員
・塩釜保健所	12月 2日(月)	塩釜医師会臨床検査センター	阿部 美彌子	理事
・塩釜保健所				
岩沼支所	12月 2日(水)	真壁病院	川端 泰広	会員

11. 石巻保健所 HIV 迅速検査

会 場 : 石巻保健所 2階

平成25年 4月 9日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 4月23日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 5月14日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 5月28日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 6月 4日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 6月25日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 7月 9日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 7月23日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 8月13日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 8月27日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年 9月24日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年10月 8日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年10月22日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年11月12日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年11月26日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員

平成25年12月10日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成25年12月24日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成26年1月14日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成26年1月28日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成26年2月25日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成26年3月11日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員
平成26年3月25日(火)	真壁病院	川端 泰広	会員

12. 気仙沼保健所迅速検査

会 場	：気仙沼石巻保健所 2階		
平成25年6月18日(火)	真壁病院	佐藤 由則	担当理事
平成25年7月16日(火)	気仙沼市立病院	梶原 かおり	会員
平成25年8月20日(火)	真壁病院	佐藤 由則	担当理事
平成25年9月17日(火)	真壁病院	佐藤 由則	担当理事
平成25年10月15日(火)	気仙沼市立病院	梶原 かおり	会員
平成25年11月19日(火)	気仙沼市医師会臨床検査センター	佐藤 由則	担当理事
平成25年12月17日(火)	気仙沼市医師会臨床検査センター	佐藤 由則	担当理事
平成26年1月21日(火)	気仙沼市立病院	梶原 かおり	会員
平成26年2月18日(火)	気仙沼市立病院	梶原 かおり	会員
平成26年3月18日(火)	気仙沼市医師会臨床検査センター	佐藤 由則	担当理事

資料3. 学術部主催研修会

表1)平成25年度宮城県臨床検査技師会主催研修会一覧

開催日	研修会名	会場	分野	参加者数
2013/4/13	薬剤と臨床検査	TKP カンファレンスセンター	生物化学	27
2013/4/20	脳血管疾患の診断と治療～頸動脈エコーの 関わり～	みやぎ県南中核病院講堂	生理	65
2013/05/25	平成24年度病理組織検査精度管理フォロー アップ研修会	東北薬科大学病院 大会議室	病理	16
2013/05/26	医療安全研修会「事例から学ぶリスクマネ ジメント」	KKR ホテル仙台	総合	35
2013/06/23	平成25年度微生物部門第1回研修会	東北労災病医院 大会議室	微生物	56
2013/06/29	学術一般検査部門研修会	仙台市立病院大会議室	一般	77
2013/06/29	生理機能検査部門精度管理フォローアップ 研修会	東北大学病院臨床小講堂	生理	73
2013/06/29	細胞部門精度管理フォローアップ研修会	東北大学病院病理部討論室	細胞	10
2013/07/06	病理部門研修会「技師のための病理組織セ ミナー」	東北大学病医院臨床中講堂	病理	34
2013/07/06	生化学、免疫学の基礎と震災対応型臨床検 査システム	TKP カンファレンスセンター	生物化学	42
2013/07/14	凝固・線溶検査がわかる・スキになる	TKP カンファレンスセンター	血液	42
2013/07/20	輸血部門における品質保証	TKP カンファレンスセンター	輸血	25
2013/08/03	採血業務について	石巻赤十字病院会議室	合同	30
2013/08/24	臨床検査技師と医学論文	仙台市立病院大会議室	総合	21
2013/09/07	糖尿病合併症と臨床検査	大崎市民病院講義室	合同	64
2013/11/01	血液ガスっておもしろい！～血液ガスデ ータの見方	TKP カンファレンスセンター	生物化学	30
2013/11/02	心肺蘇生講習会 AHA ハートセイバーAED コース	長陵会館	生理	18
2013/11/16	医学論文と医療統計	TKP 仙台西ロビジネスセンター	総合	15
2013/11/16	がん化学療法について	TKP 仙台西ロビジネスセンター	合同	25
2013/11/30	宮城・岩手県技師会合同学術研修会	大船渡リアスホール	合同	16(宮城)
2013/12/07	細胞形態の特徴をつかもう！	仙台市立病院大会議室	血液	46
2014/01/18	症例検討ー輸血検査と製剤管理の知識を深 めるー	TKP カンファレンスセンター	輸血	13
2014/01/15	「一般検査臨床遍」～これだけは！知って おきたい尿定性検査と尿沈渣成分～	仙台市立病院大会議室	一般	65
2013/03/09	診療報酬改定のポイント	仙台市立病院大会議室	総合	45

資料4. 共催研修会

2013/10/05	第7回呼吸器感染症の診断と治療を考える
2013/10/25	第3回宮城医療安全研修会
2013/11/09	第19回東北院内感染対策研究会
2013/11/09	日本臨床微生物学会 震災感染症シンポジウム
2013/12/14	第8回神経脈管エコー検査セミナー
2014/01/18	第13回東北臨床感染研究会
2014/03/06	宮城臨床血管情報研究会

(第二号議案)

正味財産増減計算書(総括表)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	5,603,500	4,722,000	881,500
正会員入会金収入	30,500	34,000	△ 3,500
正会員会費収入	4,845,000	3,800,000	1,045,000
賛助会員会費収入	720,000	880,000	△ 160,000
県会員会費収入	8,000	8,000	0
事業収益	704,000	2,161,500	△ 1,457,500
研修会事業収入	514,000	575,500	△ 61,500
県学会事業収入	0	616,000	△ 616,000
広告収入	190,000	970,000	△ 780,000
受取補助金等	1,784,000	1,384,000	400,000
精度管理助成金収入	380,000	384,000	△ 4,000
教育研修事業助成金収入	1,160,000	800,000	360,000
日臨技委託費収入	244,000	200,000	44,000
雑収入	15,038	17,278	△ 2,240
受取利息収入	9,282	15,278	△ 5,996
雑収入	5,756	2,000	3,756
経常収益計	8,106,538	8,284,778	△ 178,240
(2) 経常費用			
事業費・管理費	8,381,389	9,542,589	△ 1,161,200
会議費	168,598	356,500	△ 187,902
旅費交通費	772,166	932,250	△ 160,084
通信運搬費	1,254,713	1,146,001	108,712
筆耕印刷費	1,072,971	1,952,434	△ 879,463
諸謝金	731,048	691,318	39,730
貸借料	1,562,867	1,734,940	△ 172,073
雑費	21,260	151,880	△ 130,620
給料手当	1,152,726	1,103,937	48,789
法定福利費	15,221	9,533	5,688
福利厚生費	4,032	30,000	△ 25,968
光水熱費	77,895	72,529	5,366
消耗品費	16,862	49,483	△ 32,621
消耗什器備品	97,778	91,768	6,010
リース料	575,219	335,922	239,297
材料費	519,049	529,310	△ 10,261
交際費	40,000	30,000	10,000
諸会費・負担金	288,800	299,600	△ 10,800
保険料	0	15,000	△ 15,000
減価償却費	10,184	10,184	0
経常費用計	8,381,389	9,542,589	△ 1,161,200
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 274,851	△ 1,257,811	982,960
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 274,851	△ 1,257,811	982,960
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
(2) 経常外費用			
固定資産評価損	42,500	0	42,500
固定資産評価損(経常外)	42,500	0	42,500
経常外費用計	42,500	0	42,500
当期経常外増減額	△ 42,500	0	△ 42,500
当期一般正味財産増減額	△ 317,351	△ 1,257,811	940,460
一般正味財産期首残高	20,383,011	21,640,822	△ 1,257,811
一般正味財産期末残高	20,065,660	20,383,011	△ 317,351

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 基金増減の部			
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV. 正味財産期末残高	20,065,660	20,383,011	△ 317,351

正味財産増減計算書(内訳表)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目	(公益) 本年度	(公益) 前年度	増減	(法人) 本年度	(法人) 前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
受取会費				5,603,500	4,722,000	881,500
正会員入会金収入				30,500	34,000	△ 3,500
正会員会費収入				4,845,000	3,800,000	1,045,000
賛助会員会費収入				720,000	880,000	△ 160,000
県会員会費収入				8,000	8,000	0
事業収益	514,000	1,191,500	△ 677,500	190,000	970,000	△ 780,000
研修会事業収入	514,000	575,500	△ 61,500			
県学会事業収入	0	616,000	△ 616,000			
広告収入				190,000	970,000	△ 780,000
受取補助金等	1,554,000	1,184,000	370,000	230,000	200,000	30,000
精度管理助成金収入	380,000	384,000	△ 4,000			
教育研修事業助成金収入	1,160,000	800,000	360,000			
日臨技委託費収入	14,000	0	14,000	230,000	200,000	30,000
雑収入	0	513	△ 513	15,038	16,765	△ 1,727
受取利息収入	0	513	△ 513	9,282	14,765	△ 5,483
雑収入	0	0	0	5,756	2,000	3,756
経常収益計	2,068,000	2,376,013	△ 308,013	6,038,538	5,908,765	129,773
(2) 経常費用						
事業費・管理費	4,634,513	4,566,420	68,093	3,746,876	4,976,169	△ 1,229,293
会議費	50,672	207,650	△ 156,978	117,926	148,850	△ 30,924
旅費交通費	377,950	540,200	△ 162,250	394,216	392,050	2,166
通信運搬費	718,743	445,525	273,218	535,970	700,476	△ 164,506
筆耕印刷費	399,096	303,667	95,429	673,875	1,648,767	△ 974,892
諸謝金	633,503	422,455	211,048	97,545	268,863	△ 171,318
貸借料	909,992	1,096,100	△ 186,108	652,875	638,840	14,035
雑費	810	12,066	△ 11,256	20,450	139,814	△ 119,364
給料手当	576,362	551,968	24,394	576,364	551,969	24,395
法定福利費	7,610	4,766	2,844	7,611	4,767	2,844
福利厚生費	2,016	15,000	△ 12,984	2,016	15,000	△ 12,984
光水熱費	38,946	36,263	2,683	38,949	36,266	2,683
消耗品費	8,431	22,116	△ 13,685	8,431	27,367	△ 18,936
消耗什器備品	48,889	43,889	5,000	48,889	47,879	1,010
リース料	287,610	167,961	119,649	287,609	167,961	119,648
材料費	419,299	529,310	△ 110,011	99,750	0	99,750
交際費				40,000	30,000	10,000
諸会費・負担金	144,400	149,800	△ 5,400	144,400	149,800	△ 5,400
保険料	0	7,500	△ 7,500	0	7,500	△ 7,500
減価償却費	10,184	10,184	0			
経常費用計	4,634,513	4,566,420	68,093	3,746,876	4,976,169	△ 1,229,293
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,566,513	△ 2,190,407	△ 376,106	2,291,662	932,596	1,359,066
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,566,513	△ 2,190,407	△ 376,106	2,291,662	932,596	1,359,066
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
(2) 経常外費用						
固定資産評価損	0	0	0	42,500	0	42,500
固定資産評価損(経常外)	0	0	0	42,500	0	42,500
経常外費用計	0	0	0	42,500	0	42,500
当期経常外増減額	0	0	0	△ 42,500	0	△ 42,500
当期一般正味財産増減額	△ 2,566,513	△ 2,190,407	△ 376,106	2,249,162	932,596	1,316,566
一般正味財産期首残高	20,383,011	3,191,890	17,191,121	0	18,448,932	△ 18,448,932
一般正味財産期末残高	17,816,498	1,001,483	16,815,015	2,249,162	19,381,528	△ 17,132,366

勘定科目	(公益) 本年度	(公益) 前年度	増減	(法人) 本年度	(法人) 前年度	増減
II. 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0
III. 基金増減の部						
当期基金増減額	0	0	0	0	0	0
基金期首残高	0	0	0	0	0	0
基金期末残高	0	0	0	0	0	0
IV. 正味財産期末残高	17,816,498	1,001,483	16,815,015	2,249,162	19,381,528	△ 17,132,366

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
I. 資産の部				II. 負債の部			
1. 流動資産	15,245,651	16,163,521	△ 917,870	1. 流動負債	5,144,081	5,789,960	△ 645,879
現金	226,077		226,077	短期借入金		12,428	△ 12,428
預金	15,019,574	15,730,416	△ 710,842	未払金	237,562	1,197,788	△ 960,226
未収入金		120,000	△ 120,000	預り金	21,519	37,244	△ 15,725
立替金		313,105	△ 313,105	前受金	4,885,000	4,542,500	342,500
2. 固定資産	9,964,090	10,009,450	△ 45,360	負債合計	5,144,081	5,789,960	△ 645,879
(1) 基本財産	9,954,294	9,946,970	7,324	III. 正味財産の部			
投資有価証券(基本)	9,954,294	9,946,970	7,324	1. 基金			
(3) その他固定資産	9,796	62,480	△ 52,684	基金			
器具及び備品	6	10,190	△ 10,184	2. 指定正味財産			
電話加入権	9,790	52,290	△ 42,500	指定正味財産			
				3. 一般正味財産	20,065,660	20,383,011	△ 317,351
				(1) 代替基金			
				代替基金			
				(2) その他一般正味財産	20,065,660	20,383,011	△ 317,351
				その他一般正味財産	20,065,660	20,383,011	△ 317,351
				正味財産合計	20,065,660	20,383,011	△ 317,351
資産合計	25,209,741	26,172,971	△ 963,230	負債及び正味財産合計	25,209,741	26,172,971	△ 963,230

(公益目的支出：継続事業)

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
I. 資産の部				II. 負債の部			
1. 流動資産	7,870,467	10,694,448	△ 2,823,981	1. 流動負債	945	268,597	△ 267,652
現金	218,600		218,600	短期借入金		3,498	△ 3,498
預金	7,651,867	10,546,883	△ 2,895,016	未払金	630	263,962	△ 263,332
未収入金		100,000	△ 100,000	預り金	315	1,137	△ 822
立替金		47,565	△ 47,565	負債合計	945	268,597	△ 267,652
2. 固定資産	9,946,976	9,957,160	△ 10,184	III. 正味財産の部			
(1) 基本財産	9,946,970	9,946,970	0	1. 基金			
投資有価証券(基本)	9,946,970	9,946,970	0	基金			
(3) その他固定資産	6	10,190	△ 10,184	2. 指定正味財産			
器具及び備品	6	10,190	△ 10,184	指定正味財産			
				3. 一般正味財産	17,816,498	20,383,011	△ 2,566,513
				(1) 代替基金			
				代替基金			
				(2) その他一般正味財産	17,816,498	20,383,011	△ 2,566,513
				その他一般正味財産	17,816,498	20,383,011	△ 2,566,513
				正味財産合計	17,816,498	20,383,011	△ 2,566,513
資産合計	17,817,443	20,651,608	△ 2,834,165	負債及び正味財産合計	17,817,443	20,651,608	△ 2,834,165

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
I. 資産の部				0	II. 負債の部		
1. 流動資産	7,375,184	5,469,073	1,906,111		1. 流動負債	5,143,136	5,521,363
現金	7,477		7,477		短期借入金		8,930
預金	7,367,707	5,183,533	2,184,174		未払金	236,932	933,826
未収入金		20,000	△ 20,000		預り金	21,204	36,107
立替金		265,540	△ 265,540		前受金	4,885,000	4,542,500
2. 固定資産	17,114	52,290	△ 35,176		負債合計	5,143,136	5,521,363
(1) 基本財産	7,324		7,324		III. 正味財産の部		
投資有価証券(基本)	7,324		7,324		1. 基金		
(3) その他固定資産	9,790	52,290	△ 42,500		基金		
器具及び備品					2. 指定正味財産		
電話加入権	9,790	52,290	△ 42,500		指定正味財産		
					3. 一般正味財産	2,249,162	
					(1) 代替基金		
					代替基金		
					(2) その他一般正味財産	2,249,162	
					その他一般正味財産	2,249,162	2,249,162
					正味財産合計	2,249,162	2,249,162
資産合計	7,392,298	5,521,363	1,870,935		負債及び正味財産合計	7,392,298	5,521,363
							1,870,935

財産目録

平成26年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	金額	使用目的等
(流動資産)			
現 金	会計預り金	226,077	
預 金	七十七銀行 001(main)	8,312,643	
預 金	七十七銀行 002	8,150	
預 金	七十七銀行 003	10	
預 金	七十七銀行 004	395,134	
預 金	七十七銀行 005	26,507	
預 金	七十七銀行 006	295,366	
預 金	七十七銀行 007	2	
預 金	七十七銀行 015	913,139	
預 金	七十七銀行 009	778	
預 金	ゆうちょ銀行	648,255	
預 金	ゆうちょ銀行 定期定額1	2,000,000	
預 金	ゆうちょ銀行 定期定額2	2,010,177	
預 金	振替口座	409,413	
流動資産合計		15,245,651	
(固定資産)			
基本財産		0	
投資有価証券（基本		0	
投資有価証券（基本		9,954,294	
その他固定資産		0	
器具及び備品		6	
電話加入権		9,790	
固定資産合計		9,964,090	
資産合計		25,209,741	
(流動負債)			
未 払 金		79,055	事務員3月分給与
未 払 金	インターネット3月	5,003	
未 払 金	その他	153,504	ニュースみやぎ印刷、発送費他
預 り 金		21,519	源泉預かり、劳保預かり他
前 受 金	正会員会費	4,405,000	5000円×881名
前 受 金	賛助会員会費	460,000	20,000円×23社
前 受 金	会誌広告料	20,000	20,000円×1社
流動負債合計		5,144,081	
負債合計		5,144,081	
正味財産		20,065,660	

【財務諸表に対する注記】

<重要な会計方針>

- ① 投資有価証券は取得原価で処理している。
- ② 一般社団法人移行に伴い、一般正味財産期首残高について法人会計0円、公益目的支出(継続事業) 20,383,011円とした。
- ③ ②にともない、H24年度減価償却費を法人から公益(継続事業)に移行したため、H24年度期末残高について、法人会計、公益目的支出(継続事業)間で修正を行った。電話加入権を法人会計に残すために預金間の修正を行った。
- ④ 電話加入権の評価替えを行い、42,500円を固定資産評価損として計上した。
- ⑤ 経常費用のうち、給料手当費、法定福利費、福利厚生費、光水熱費、リース料、諸会費、保険料、消耗品、消耗什器備品については、従事割合(法人会計、公益目的支出(継続事業)各50%)で配賦している。
- ⑥ 経常費用のうち、通信運搬費については、電話料金、インターネット使用料、定期便発送代等については従事割合(法人会計、公益目的支出(継続事業)各50%)で配賦し、法人会計、公益目的支出(継続事業)それぞれの管理及び事業の通信運搬費を直接配布している。
- ⑦ 経常費用のうち、賃借料については事務所賃借料を従事割合(法人会計、公益目的支出(継続事業)各50%)で配賦し、法人会計、公益目的支出(継続事業)それぞれの管理及び事業の賃借料を直接配賦している。
- ⑧ 県会員については、昨年度は会計上正会員として扱ったが、今年度から会費が異なることから科目を区別とした。そのため、昨年度の正会員会費収入と県会員会費収入間の修正を行った。